



知の実感

附属総合情報センター

所長 當瀬 規嗣

私の大学院時代は、実験、実験、時に診療、また実験という1ヶ月を繰り返す生活でした。生理学の実験というのは、1日で白黒がつくのですが、失敗することが日常で、たまに「成功」すると、上々な確率というものでした。でも、「成功」を少なくとも200回ぐらい集めないと、まともな論文にはなりません。というので、来る日も来る日も実験に明け暮れて、短くて2年ぐらい経って、ようやく論文に取りかかるという感じでした。これも研究のアイデアが当たったときです。アイデアが見当外れだと、実験を本格化する前の予備実験に費やす時間が長くなり、途方に暮れることもしばしばでした。というわけで、月曜日から金曜日まで朝から、おおむね12時間ぐらい、ぶっ続けで実験して、帰って寝るという生活です。日曜日は、次の週の抄読会の準備のため、ワンルームマンションにこもって論文抄読。

その頃はまだ、週休二日ではなく、土曜は半ドン（午前だけ）でしたので、かろうじて、図書館に行ける時間は土曜日の午前中しかありませんでした。オマケに今と違って、インターネットもなく、検索システムもないので、文献検索は論文の参考文献からの子引き、孫引きしか方法がないのです。貴重な土曜日の午前は、図書館のカビ臭くて背の低い書庫にこもりっきりになります。でも、これが週末の楽しみでもありました。天井までそびえる書架に並ぶ表装された雑誌の威容。その間の狭い通路を行っ

たり来たりして、論文を探し出します。論文の引用が意外と不正確で、該当ページに違う論文なんてことも多々ありましたが、ここが、デジタル化と異なるところで、同じ雑誌の数号前後の目次を丹念に探すと、目的の論文はすぐ見つかります。また、目的ではない論文の表題が、ふと気にとまり、そのまま論文を読みふけたことも、よくありました。こうした、一つ一つが、科学という「知」の実態にふれている充実感をもたらし、好奇心と探求心をかき立てられたのでした。時間はあっという間。お昼近くなり、選び出した論文の山を運び出して、大学院生の乏しい財布をはたいてコピーの山を作ります。あとは、1週間かけて論文を読みます。今振り返ると、この頃読んだ論文の内容はほとんど覚えています。私の科学的な基礎は、あのカビ臭い書架で養われたのです。

わがセンターの集密書架は、カビ臭くはありませんが、そこにたたずむと甘酸っぱい気持ちになります。PCのモニターを離れ、図書館にこもって、「知」を実感することをお勧めします。圧倒的な活字の海に、人類の英知が見いだせますよ。



誌名「Barks (パークス)」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮 (liber)」の英訳です。

平成 23 年度学部学生懇談会を実施しました

当センターは、図書館、コンピュータ実習室などのサービス向上を目的として、一昨年より両学部学生との懇談会を実施しています。実施内容は、下記のとおりであります。初年度となる平成 22 年度は、両学部最上位学年のみを対象としましたが、2 年目となる本年度については、両学部 18 学年全てを対象に懇談会を実施しました。

懇談会は、当センター職員が講義の終了前後にお伺いし、対話形式により行いましたが、実施にあたりましては、学年担当並びに講義担当の教員のみなさま、学年代表のみなさまにご協力いただきました。あらためて厚く御礼申し上げます。

なお、懇談会並びにアンケートにて頂戴しましたご意見等につきましては、現在、取りまとめを行っていますが、全ての集計が完了後、ホームページにてお知らせする予定です。

[目 的]

図書館、コンピュータ実習室やネットワークの利用について、学部学生との対面方式の懇談会を通し、広く意見等を聴取し、サービスの向上をはかるとともに、学部学生との交流を図る。

[実施対象]

医学部及び保健医療学部の全ての学部学生（医学部 6 学年、保健医療学部 3 学科 12 学年）

[実施期間]

平成 23 年 7 月 11 日（月）～12 月 21 日（水）

[実施内容]

- ・ 学年毎に講義室においてフリートーク形式で意見交換並びに無記名方式によるアンケートにより意見、要望を聴取。
- ・ 学年毎に購入希望図書を聴取。金額は、各学年 10 万円以内。

[結果概要]

- ・ アンケートは、全学生数 1,004 名中、733 名より回答（回答率 73%）
- ・ 購入希望図書は、18 学年中 7 学年（医学部 5、保健医療学部 2）から 48 件の要望を受け、37 件について購入を実施（重複・絶版等を除く）

[主なご意見、ご要望等]

1 コンピュータ実習室関連

- ・ パソコンの起動が遅い
- ・ パソコンの故障が多い
- ・ 印刷枚数制限を撤廃して欲しい
- ・ カラープリンタを設置して欲しい

2 図書館関連

- ・ 検索コーナーのパソコンソフトにワード、エクセル、パワーポイントを導入して欲しい
- ・ 印刷料金を無料にして欲しい
- ・ 資料配置表示が分かりにくい
- ・ 図書館資料に医学専門書以外の小説なども増やして欲しい
- ・ 貸出し期間と冊数を拡大して欲しい（特に実習期間中）
- ・ 試験期間中に荷物を置きっ放しにしての席取りは迷惑
- ・ 試験期間中館内がうるさい
- ・ 飲食スペースを拡大して欲しい

この他にもご要望を多くいただきましたが、「24 時間利用ができ大変便利なので続けて欲しい」、「これまで不安に思っていた卒業後の図書館利用についての疑問が解消し安心した」など現在の附属総合情報センターのサービスに対する温かいご意見も頂戴しております。

以上、全ての予定を終了致しましたが、今後も日々のご意見、ご要望がございましたら当総合情報センターホームページの「CONTACT」からお寄せいただけますのでどうぞご利用下さい。
（図書グループ 利用サービス）

平成 24 年度国外学術雑誌の整備について

本学で購読する国外学術雑誌は、講座等に対する購読希望調査をもとに、当センター運営委員会で選定を行っていますが、30 年来の原価高騰により購読誌の維持に大きな不安を抱えており、平成 15 年度より実施の学内購読誌の重複解消（学内 1 誌化事業）や電子ジャーナルを主体整備など全学一致による整備を継続実施しています。平成 24 年度購読誌の整備内容については、昨年 10 月 24 日開催の平成 23 年第 2 回運営委員会において次のとおり決定されました。誌数としては、本年度同様の規模を維持するとともに、講座予算による新規購読および購読中止についても希望通り実施することとなりました。

〔平成 24 年度国外学術雑誌の整備概要〕

1 整備方法

購読誌の選定にあたっては、講座等からの希望調査を実施。また、電子ジャーナルの購読は、日本医学図書館協会などの電子ジャーナル・コンソーシアム事業（共同購読）への参加により整備を行っており、大学全体での購読タイトルや購読額の維持条件があることから、新規購読による維持所要額の増大や購読中止に伴う維持条件不履行を防ぐために、次により全学調整を実施しました。

- ① Elsevier、Nature Pub Group、Karger、Wiley-Blackwell の 4 社のコンソーシアムについては、誌数、金額等に契約維持条件があることから、新規・中止による割引率の変動がないよう調整しました。
- ② Lippincott、Springer-Verlag の 2 社のコンソーシアムについては、契約条件、提供誌数が変更となったことから、購読額の節減を図る一方で、本年度同様の提供誌数を確保できるよう購読誌の見直しを行いました。なお、購読誌の見直しにあたっては、1 論文当りの単価（契約額を閲覧論文数で割った金額、一般に「CPA（Cost per article）」と呼ばれます）の比較により行いました。

2 整備結果

上記 1 による整備の結果、平成 24 年度につきましても、本年度に比べ、新規購読 10 誌、購読中止誌 25 誌となりました。また、国外主要出版社電子ジャーナルの提供誌数は、右表のとおりです。

なお、新規購読、購読中止のタイトル等の詳細につきましては、別途、当センター・ホームページにてご案内いたしますので、ご参照ください。

3 その他

日本語版オンラインジャーナルについては、Medical Finder（医学書院）、Medical Online（（株）メテオ）、CiNii（国立情報学研究所）を中心に整備を行い、約 1,600 誌を提供しており、国内医学系図書館の中でも充実した整備内容となっています。

（図書グループ 図書管理）

表. 平成 24 年度国外学術雑誌電子ジャーナル誌数

契約出版社	誌数
American Chemical Society (ACS)	40
American Medical Association (AMA)	7
BMJ Pub group	12
Cambridge Univ Press	123
Elsevier	113
Georg Thieme	6
Karger	76
Lippincott	93
Nature Pub Group	31
Oxford Univ Press	95
Rockefeller Univ Press	3
Science	1
Springer	1,700
Wiley-Blackwell	752
合 計	3,052

基礎医学研究棟コンピュータ実習室がリニューアルしました！

講義や自学自習スペースとして 24 時間ご活用いただいている基礎医学研究棟コンピュータ実習室であります。平成 11 年 4 月の開設時よりパソコン設置台数が医学部学年定員の約半分 60 台となっており、利用上のご不便をおかけしてきましたが、この度、学内関係各位のご協力により施設、設備の改修を行い、昨年 11 月 1 日、リニューアル・オープンしましたので、お知らせいたします。



リニューアル・オープン当日は、島本和明学長に内覧いただき、感想をいただきましたが、リニューアル後の施設、設備は、従来より倍増となっており、これまでの課題となっていた医療情報学をはじめとする学年単位で講義開催や 1 会場による CBT 実施などはもとより、地方会や教職員の講習会など、講義や自学実習に限らない新たな活用が大いに期待されます。

なお、昨年 7 月末より約 3 ヶ月間にわたる改修工事に際し、ご利用のみなさまにはご理解とご協力をいただきましたこと、あらためて御礼申し上げます。

(総務・システムグループ 主査 (情報システム))

[機器等の整備台数]

項目	従 来	改修後	備考
利用者用パソコン	60 台	130 台	保健医療学部棟と併せ、199 台
スクリーン	2 台	4 台	保健医療学部棟は、既設 2 台
プロジェクター	2 台	4 台	保健医療学部棟は、既設 2 台
プリンタ	5 台	10 台	保健医療学部棟は、既設 5 台

◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内 線	E-mail	照会先
図書館の利用に関すること	2424	libserv@sapmed.ac.jp	図書 G (利用サービス)
学内所属員の文献複写依頼に関すること	2418	illo@sapmed.ac.jp	図書 G (利用サービス)
学外からの文献複写の申し込み	2417	illr@sapmed.ac.jp	図書 G (利用サービス)
図書に関すること	2416	book@sapmed.ac.jp	図書 G (図書管理)
雑誌に関すること	2426	serial@sapmed.ac.jp	図書 G (図書管理)
札幌医学雑誌に関すること	2423	satuisi@sapmed.ac.jp	図書 G (図書管理)
メール・アドレス、LAN への機器接続に関する	2239	icccj@sapmed.ac.jp	総務・システム G (情報システム)
図書館へのご意見・ご要望に関すること	2413	konno@sapmed.ac.jp	図書 G 主任司書

パークス
Barks

Sapporo Medical University
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南 1 条西 17 丁目
TEL 011-611-2111 (代表) FAX 011-641-9646

[URL] <https://infornavi.sapmed.ac.jp/jpn/> [E-mail] libserv@sapmed.ac.jp